

# 世界レベルの研究と技術力で地域産業振興を促進 新たな挑戦に取り組む産学連携

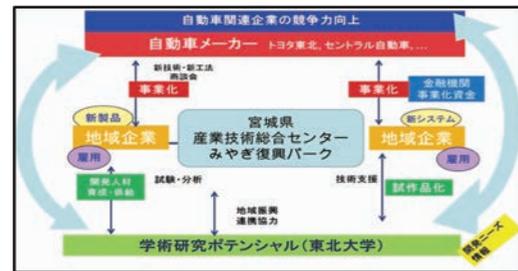
## 震災復興に向けた大型産学官連携プロジェクトの開始

### 東北発 素材技術先導プロジェクト

材料科学等の分野において世界的にもトップレベルにある東北大学を拠点として、東北地域の大学や企業等と幅広い連携の下、東北大学が世界をリードする「超低摩擦技術領域」「超低損失磁心材料技術領域」「希少元素高効率抽出技術領域」の3つの技術領域において革新的技術シーズの創出と実用化への橋渡しを目指す。



キックオフシンポジウム



概念図

### 知と医療機器創生宮城県エリア

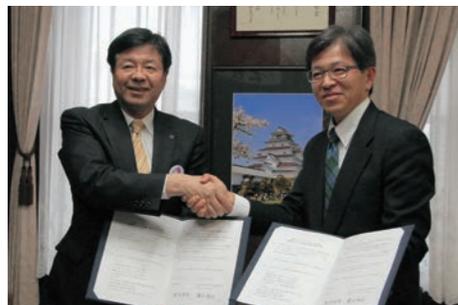
宮城県、東北大学、東北経済連合会、七十七銀行、(株)インテリジェントコスモス研究機構の5機関が一体となって「みやぎ知と医療機器創生拠点推進協議会」を結成。「宮城県震災復興計画」に基づくグローバルな産業エリア創出の実現に向け、地域高度電子・精密機械・IT産業等に知的財産・人材・資金を投入し、地域から医療機器を創出することを目指す。



概念図

### 地域イノベーションプロデューサー塾サテライト開設

東北地域における産業・経済の発展、雇用機会の創出及び震災復興の促進を可能にする革新的な事業を創出し、実行する地域のリーダー的経営人材を育成するため、2012年度から片平キャンパスを本校としてスタートした「地域イノベーションプロデューサー塾」に、岩手県花巻市と福島県会津若松市にサテライトを設置することが決まった。2013年4月12日に花巻市と、4月26日に会津若松市と覚書を締結した。今後、サテライトを通じて、東北地域全体でイノベーションを起こす経営人材が多数輩出され、地域産業・経済の発展、雇用機会の創出が期待される。



会津若松市との覚書締結

## 産学連携イベント

### 「東北大学イノベーションフェア2013」

2013年1月17日、仙台国際センターにおいて、東北大学の最先端研究シーズと社会のニーズの出会いの場として東北大学イノベーションフェア2013を開催した。この中では、東北大学の復興に向けた取組みを特別展示として紹介したほか、70を超えるブース展示、「次世代移動体システム」、「極限ロボティクス」に関わる研究成果の実演が行われ、約1,000名が来場した。



イノベーションフェアの様子



研究室見学の様子

### 「東北大学ラボツアー」

2013年2月19日・22日に、東北大学と七十七銀行の共同企画として、地域企業の技術力向上および若手エンジニアの育成支援を目的に地域企業が東北大学の研究室を訪問する「東北大学ラボツアー」が開催された。製造業を営む企業を対象として、東北大学の担当教員が自動車産業に関する先端技術や特色ある研究内容の説明を行いながら、研究施設や装置等の見学を行った。このラボツアーは金融機関と東北大学が初めて取り組む研究室体験型の産学連携企画であった。

## TOPICS 工学研究科・厨川教授が科学技術政策担当大臣賞を受賞

産学官連携活動において著しく成果を収めた事例から功績が顕著であると認められる個人又は団体を表彰する「産学官連携功労者表彰」について、工学研究科の厨川常元教授が第10回産学官連携功労者表彰「科学技術政策担当大臣賞」を受賞した。受賞案件名は「ナノ精度機械加工法の開発と非球面ガラスレンズの高精度化」で、厨川教授が主宰する、産業界のニーズを反映したコンソーシアムの成果が基になっている。



受賞式の様子(写真:内閣府提供)